

活動日時	令和8年1~2月
クラス名 (年齢)	きりん組 (3~5歳児)

1、活動テーマ
「テーマ」

顕微鏡と自然物

「テーマの設定理由」 (子どもの姿)

日頃の戸外遊びの中で、子供たちは自然物に触れて「これ何?」「なんでこうなっているの?」と興味を興味示す姿が見られています。葉っぱや身近なものなど、目に見える範囲のものに関心を持ちじっくり見ようとする様子が見られました。また「もっとよくみたい」「中はどうなっているのだろう」といった発言もあり、見えない部分への関心が芽生えていると感じました。しかし、肉眼では観察できる範囲に限界があり、十分に気づきを深めることが難しい場面も見られました。そこで、顕微鏡を用いて普段は見ることのできない世界に触れることで、子どもたちの興味、探究心をさらに引き出し、新たな発見につなげたいと考え、本活動を設定しました。

2、活動スケジュール

- ①導入/自然物を見せる。興味を引き出す
- ②観察方法の説明/使い方、約束 - (保育士の関り) 実際に見せながら説明
- ③観察活動/内容・グループごとに観察
- ④共有タイム
- ⑤表現活動

3、活動のために準備した素材や道具

顕微鏡/プロジェクター/iPad/カメラ/自然物/食べ物/室内の身近な物
画用紙/クレヨン/色鉛筆/のり/はさみ

4、探究活動の実績 (活動内容)

- ①顕微鏡の使い方 (導入)
- ②前回活動した自然物の観察
- ③観察したものの記録
- ④発見をみんなで伝え合う
- ⑤季節ごとのマイクロ図鑑作りに興味を持って活動が継続できるようにしていく。

子どもの言葉・姿・保育士の関わり	写真
<p>園庭で集めた自然物を使い顕微鏡で観察する活動を行った。3歳児の子は「みえた!」と笑顔で何度も見ていたが「何がみえたの?」と尋ねると「わからない」とこたえていた。その様子を見ていた5歳児の子は『ここに線があるよ』と声をかけ一緒に見ながら「これ葉っぱの道だよ」と説明をしていました。すると、3歳児の子は再び覗いて「あ!せんあった!」と嬉しそうに話していました。また4歳児の子は「こっちはつぶつぶがある」「さっきと違う」と違いに気づき、近くの友達に話していました。</p> <p>保育士は「どんな風に見えた?」と問いかけ感じたことを引き出せたと思います。また年長児には「教えてあげてくれる?」と声をかけ異年齢の関りを促しました。4歳児には気づきを受け止め「どこが違ったの?」とさらに考えを深めるようにしていきました。</p>	  

5、振り返り (振り返りによって得た保育士の気づき)

今回の活動では、顕微鏡を用いた観察を通して、子どもたちが普段見ることのできない世界に興味を持ち、意欲的にかかわる姿が見られた。特に3歳児は「みえた!」という体験そのものを喜び、繰り返し覗こうとする姿が印象的でした。また、4歳児は「つぶつぶがある」「さっきとちがう」など、見えたものの違いや特徴に気づき、言葉で表現しようとする姿が見られました。5歳児は自分の発見を年下に伝えたり、使い方を教える姿があり、異年齢のかかわりの中で主体的に役割を担う様子が見られた。一方で、顕微鏡の数に限りがあるため待ち時間が生じ興味が持続しにくい場面もあった。そのため、今後の観察物を増やしたり、虫眼鏡など複数の方法を用意することでより多くの子どもが主体的に関われる環境構成が必要だと思いました。

活動日時	令和8年3月
クラス名 (年齢)	きりん組 (3~5歳児)

1、活動テーマ

「テーマ」

季節ごとのマイクロ図鑑作り

「テーマの設定理由」 (子どもの姿)

普段目にしているものでも「本当はどんな形をしているのか」といった視点で見る機会は少ないので顕微鏡を使うことで普段は見えないマイクロの世界を発見し身近な自然への興味や不思議さを感じることができると考えました。また季節ごとに身近なものを観察し子どもが見たもの、発見したものを絵に描き皆の前で発表する事でマイクロ図鑑としてまとめていく活動を継続したいと思います。季節の変化に気付く、自分の発見を記録する楽しさを感じる、もっとみたい、他のものも見てみたいという探究心を育てることをねらいとしてこのテーマを設定しました。

2、活動スケジュール

3月は前回の顕微鏡で見たものを絵に描き感じたこと、発見したことを絵に描いたり、画像を使って発表していきました。4月から季節ごとのマイクロの世界を見ていき図鑑づくりの活動につなげていきたいと思います。

3、活動のために準備した素材や道具

顕微鏡／プロジェクター／iPad／カメラ／自然物／食べ物／室内の身近な物
画用紙／クレヨン／色鉛筆／のり／はさみ

4、探究活動の実績 (活動内容)

- ①顕微鏡の使い方 (導入)
- ②前回活動した自然物の観察
- ③観察したものの記録
- ④発見をみんなで伝え合う
- ⑤季節ごとのマイクロ図鑑作りに興味を持って活動が継続できるようにしていく。

子どもの言葉・姿・保育士の関わり	写真
園庭や散歩で見つけた自然物を観察したものをグループに分かれて話し合い、画像や絵で表現しました。子供たちは「見えた模様を描く」「色の違いを表す」「気づいたことを友達に伝える」など自分の発見や共有する姿が見られた興味が広がっていきました。活動を通して子供たちは「身近な自然への興味が深まる」「色の違いを表す」「気づいたことを友達に知らせる」など自分の発見、共有する姿が見られ興味が広がっていきました。活動を通して子供たちは身近な自然への興味が深まる、他のものも見てみたいという探究心をもつ、観察したことを友達と共有するなど主体的に学びを広げる姿が見られました。	  

5、振り返り (振り返りによって得た保育士の気づき)

この活動を継続してつなげていくために毎週〇曜日は顕微鏡を覗くなど決めていき、
 4月～5月 (導入) 見えない世界に興味を持つ
 6月～7月 (発見を楽しむ) 違いに気付く
 9月～10月 (比較する) 季節の違いに気づく
 11月～12月 (探求する) 自分で見たいものを探す
 1月～2月 (まとめ) 図鑑を完成
 と、来年度に向けて作る楽しみを感じられる活動をしたいと思います。